

兵庫県立尼崎総合医療センター広報制作物リニューアル
に関する提案・支援業務委託仕様書

2025年2月

兵庫県立尼崎総合医療センター

ホームページの制作・運営管理業務

1 基本的要件

(1) 全般

- ① 専任の開発担当マネージャーを割り当て、病院担当者との打合せ、合意の上に各機能の開発を進めること。この打合せにおいて当初仕様から乖離する機能が発生した場合は、有償・無償を含めて積極的な改善提案を行うこと。また、ホームページの作成、運用するにあたり、どのような人員、体制で臨むかを明示すること。
- ② 当院ホームページに関する一切の著作権は当院に帰属するものとする。

(2) ページ構成

- ① 設計時に制作する総ページ数の目安を明らかにすること。
- ② 制作予定数ページのカウントには、現在の兵庫県尼崎総合医療センターのホームページを参考とすること。
- ③ 情報発信ができること。また、現在の兵庫県立尼崎総合医療センターのホームページに存在しないコンテンツ及び機能の提案も前提にカウントすること。
- ④ ページの全体構成図を事前に示すこと。

(3) システム構成

- ① データベース構成ソフトは、可能な限り信頼性の高いものとし、OS、CMS との整合性を図ること。
- ② CMS 運用においては、情報担当者でない事務職員の利用を想定しているため、専門的な知識や技術を必要としないシステム構成とすること。
- ③ 原則として、標準化団体で認められた、あるいはデファクトスタンダードのインターネット関連技術を採用するとともに、標準的なインターネット利用環境で快適に動作すること。また、ウェブアクセシビリティ対応を行うために、総務省「みんなの公共サイト運用モデル」の「ホームページ等実施手順」に基づいた手順で制作すること。
- ④ 厚生労働省「医療機関のホームページ内容の適切な在り方に関する指針（医療機関ホームページガイドライン）」に準拠すること。
- ⑤ コンピュータの専門知識がなくても利用できるユーザインタフェースであること。（情報の作成及び利用）
- ⑥ ホームページサーバー（WEB サーバー、DNS サーバー）を含めた提案とすること。また、院外でのサーバホスティングサービスの利用を前提とすること。
- ⑦ サーバーは、兵庫県立尼崎総合医療センター専用のもを用意すること。
- ⑧ DNS サーバについては病院側から、リソースレコードの編集が可能であること。

2 ホームページの役割と機能

(1) 役割

- ① 本業務で構築する CMS（Contents Management System）は、後述する CMS 基本機能に記載の機能から構成されるものとし、それに準拠した提案を行うこと。

- ② 本業務で構築するホームページは、これまでの医療機関のホームページにとらわれず、見やすくわかりやすい構成、デザインとすること。また、現在のホームページの問題点を分析し、それを解消する提案であること。

(2) 機能

- ① 想定 OS/ブラウザにおいて、ブラウザ側にキャッシュのない状態で、各ページの読み込み表示時間が概ね 3 秒以内であること。(回線速度は、数 Mbps が確保されている前提とする。)
- ② サイト内検索機能を有すること。(必ずしも専用開発する必要はない。Google など採用可)
- ③ SEO (Search Engine Optimization) 対策がなされていること。特にモバイルファーストインデックスが考慮されていること。
- ④ XML, HTML によるサイトマップを作成すること。

3 CMS 仕様

(1) CMS 基本性能

- ① サイト全体を CMS で管理できること。
- ② HTML の知識がなくても、ページの作成や文字の大小、文字色の変更、表の作成、リンクの作成、ファイルの添付、画像の挿入等が簡単に行えること。
- ③ 作成した情報の掲載開始日時、公開終了日時の指定ができること。
- ④ ユーザ(担当職員)自身がパスワードを変更できること。
- ⑤ 地図情報が必要なコンテンツでは、外部の地図サービスと連携すること。(Google Map 等。)
- ⑥ ニュース等ホームページの更新情報を RSS 配信できるようにすること。
- ⑦ 他サイトの RSS を自動的に取得し、特定のページに表示できること。
- ⑧ CMS への記事作成、更新、削除、公開、非公開等の処理は適正な承認手順を経た後に公開される機能が組み込まれていること。
- ⑨ 随時情報の更新ができること。可能な限り当院で更新対応可能な方法を提案、実現すること。更新に伴う受託決定事業者との業務分界点を明らかにすること。
- ⑩ 院内各部署から寄せられる更新に関する情報を効率よく収集管理する機能を備えること。
- ⑪ 提供する CMS のセキュリティ対策を明示すること。

(2) 閲覧支援機能

- ① 障害のある方、高齢者の方も使いやすい仕様を考慮すること。
- ② デザインの色使いなどを考慮すること。

(3) 対象

- ① Microsoft Edge、Safari、Firefox、Google Chrome、iOS、Android 等主要なブラウザでの閲覧ができること。
- ② スマートフォン、タブレット端末での参照も考慮したブラウザ表示・動作のチェックを行うこと。
- ③ レスポンシブウェブデザイン採用の有無を明示すること。レスポンシブでない場合は、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末への対応方法をどのように行うかについて明示すること。

4 解析

(1) アクセス解析

- ① アクセス解析機能を有すること。(必ずしも専用開発する必要はない。Google Analytics など採用可) 公開時点からアクセス解析できること。
- ② サイトの利用者数が計測できること。
- ③ サイト全体だけでなく、任意のページ (またはカテゴリー) のみでも訪問者数の集計ができること。

5 サーバ・機器類

(1) S/W・H/W

- ① 基本ソフト (OS)は、Linux を前提として構成すること。その他の OS を提案する場合には、そのメリット・デメリットを記載すること。
- ② データベース構成ソフト (DB) においては、信頼性が高く、OS、CMS、との整合性が図られたものを選択すること。
- ③ ホームページで利用する OS、DB、CMS のパッケージ、および機器スペック選択については、委託者の情報管理者と協議の上決定する。
- ④ サーバーは、震災等天変地異ならびに火災・停電に対して十分対策されているデータセンターに設置されたサーバーを使用すること。条件を満たすのであれば、レンタルサーバーの使用も可とする。
- ⑤ サーバーの乗っ取り、ウェブページの改ざん、情報漏洩、情報の遺失などを防止するため、万全のセキュリティを維持し、データの定期的なバックアップを実施出来ること。
- ⑥ サーバー等機器類の故障が発生した場合、必要な修理・修繕作業を実施すると同時に、代替機への切り替えを実施し、ウェブサイトが閲覧不能となる時間を最低限にとどめられる構成であること。
- ⑦ セキュリティ維持のため、必要に応じて構成システムのソフトウェアのアップデート・アップグレードを常時実施すること。
- ⑧ サーバー等機器類及びソフトウェアについては、初期導入ならびに維持管理が低コストであり、負荷に強く拡張性が高いものを選定すること。

6 コンテンツについて

(1) ホームページ構成

- ① グローバルナビゲーションは、閲覧者の振り分けを明確に示す形で行い、対応するコンテンツのゾーニングが明確であること。
- ② 写真、シェーマ等を使い、シンプルで患者さんや利用者の視点から使いやすいものであること。

(2) 各コンテンツ

- ① トップページから目的とするコンテンツまでの遷移ページ数を可能な限り短縮すること。特に、トップページに動画表示する場合は、動画表示によりコンテンツへのアクセス待ちが生じないこと。

- ② 閲覧者にわかりやすい形で各ゾーンのコンテンツ構成を明示すること。
- ③ 本契約において作成するホームページのコンテンツは基本的に新規作成するものとする。各部署への取材は、本契約を受託する業者及び当院が共同してこれを行うこと。必要な画像・文書ファイル等の取得、作成は原則として業者手配によって行うこと。
- ④ 各部署への取材やコンテンツ取得に関する双方の負担を軽減するため、受託業者は委託者と協議のうえ、各部署の取材に必要なフォーマットを事前に用意すること。
- ⑤ 公開後はCMSの機能により、記事の更新、削除等の更新作業が行えるようにすること。
- ⑥ コンテンツの一部（グローバルメニュー、サブメニュー、病院概要、外来関連、診療科目、アクセス、フロア図、看護部、採用情報）をスマートフォンでの閲覧に適した形で表示すること。最適化しないコンテンツは、PCサイトデータを表示させること。
- ⑦ 医師名は、50音別、診療科別、専門・得意分野別などで検索でき、検索結果は、名前順、新規登録順、閲覧数順にソートでき、検索結果から各医師の詳細ページを表示できること。

(3) 非公開ゾーン

- ① 対象者のみがログインして情報閲覧できる非公開ゾーンを作成できること。非公開ゾーンのコンテンツも同一CMSで作成・管理できること。

(4) その他

- ① HTML5に準拠したサイト構築を行うこと。
- ② 機種により動作しないことやセキュリティホールとしてのクラッキングの可能性もあるため、サイト全体としてFlash、java、SliverLightを使用しないこと。

7 保守運用・障害対策等

(1) 障害対策

- ① システム、コンテンツのバックアップが世代管理で行えること。

(2) 障害対応

- ① 障害対応とは、故障・仕様に反する挙動を起こす等のバグに対応することを指す。
- ② 障害の切り分け、障害状況の収集・分析及び報告を行うこと。
- ③ サービスが停止している場合は、委託者への速やかな連絡とともに、迅速な復旧作業に努めること。
- ④ 障害個所の修理・調整及び報告、修理後の動作確認作業を行うこと。
- ⑤ 必要に応じた再インストール・調整作業を行うこと。

(3) 運用保守

- ① 運用保守とは、仕様外の修正・改造・改良、資料作成、システム・ネットワーク・ソフトウェア運用支援等を指す。なお、具体的な内容は別途協議の上定める。
- ② 操作マニュアルをCD-RまたはDVD-Rで提供すること。また、同内容を印刷したものを2部提供すること。本マニュアルは、機能の更新、改修の都度更新したものを提供すること。
- ③ 本ホームページの運用開始前後は、操作研修を行うとともに、委託者の質問に素早く回答すること。
- ④ システム設計書（基本設計書、詳細設計書、サイト構成図）、スケジュール、詳細スケジュール

ル、開発体制、会議録、進捗管理報告書を適切なタイミングで提出すること。会議録については、議事の流れや発言の趣旨、決定事項・発生した課題・TODO リスト等を明確にまとめ提出すること。

(4) 定期作業

- ① 更新サポート内容と費用を明示すること。スポット対応と年間契約の双方を明示すること。本契約で作成されるホームページは最低1年程度の運用を想定しているため、この間の技術革新に追随するためのシステム更新作業を提案し、かつ対応すること。
- ② 運営代行サービスがあれば、内容と費用を明示すること。
- ③ ホームページシステムの定期点検（月定数回）とアップデート作業を実施すること。
- ④ メンテナンス作業時は作業報告書を毎回提出すること。必要に応じて委託者との会議に出席すること。

(5) セキュリティ・災害対策

- ① 外部からの侵入やDoS攻撃、ウイルス対策、ホームページの改ざん等への対策を行うこと。
- ② 本庁のセキュリティ調査において指摘事項があった際には、その解消に関して適切に対応を行うこと。
- ③ セキュリティインシデント発生時には当院を含め、関係機関と連携し証拠保全・捜査等に協力的に対応を行うこと。
- ④ サーバーは日本国内に設置し、災害時は自動的にサブサーバーが置かれている別の地域に移動できるようにしておくこと。
- ⑤ SSL 証明書を導入しているサーバーを使用すること。なお、別途費用がかかる場合は、見積書内に明記すること。
- ⑥ SSL/TLS プロトコルによって提供されるセキュアな接続の上で常時 SSL 通信を行うこと。
- ⑦ ホームページの作成、維持管理等にあたっては、委託者と十分協議すること。
- ⑧ 契約書や仕様書に定めのない事項については、その都度、双方協議の上定めること。
- ⑨ 本仕様に疑義が生じた場合は、委託者に問い合わせの上指示に従うこと。